

Q

どうなるの？議員定数

A

特別委員会で検討中です

令和6年3月26日に、議員定数のあり方に関する審議会から「現行の議員定数は速やかに削減することが妥当と考えられる」との答申を受け、5月13日の臨時会で議員定数等調査特別委員会(委員11人)を設置し、調査・検討を開始しました。9月までに中間報告をまとめた後、議会報告会やパブリックコメント等を通して市民の皆様から意見をいただき、来年の2月定例会への議案上程を目指すこととしました。

特別委員会の設置に先立ち、全議員で審議会の答申を尊重して削減に向けて調査を進めることを確認しました。特別委員会では、7月に実施した議員アンケートを参考にして、人口減少が進む中で効率的かつ機能的な議会運営に必要な議員定数などを算出し、中間報告でお示しすることとしています。

審議会から指摘のありました削減によるデメリット(市民意見が届きにくくなったり、多様性が低下したりすることへの不安等)への対策、市民意見の反映についても検討していきます。

なお、議会報告会は9月定例会終了後に予定しており、詳しい日程や会場等はあらためてお知らせします。



今後の進め方

(令和6年7月15日現在)

年月日	内容	
令和6年	3月	議員定数のあり方に関する審議会から答申(26日)
	5月	議員定数等調査特別委員会を設置(13日) ・正副委員長を互選
	6月	第2回議員定数等調査特別委員会(7日) ・今後の進め方を協議
		第3回議員定数等調査特別委員会(26日) ・検討項目について協議
		第4回議員定数等調査特別委員会(28日) ・議員アンケートの内容を協議
		特別委員会及び議員全体会議を随時開催
	7月	・議員アンケートの実施 ・検討項目について協議・調査
	8月	
	9月	・中間報告 ・議会報告会 ・アンケート調査 ・パブリックコメント
	10月	
	11月	
	12月	
7年	1月	・調整後に最終案の確定
	2月	定例会 議員定数条例の改正案を上程

※現段階での予定であり変更になる可能性もあります

編集後記

6月定例会は、正副議長や委員長の交代、会派の再編成などがありつつも、議事運営が滞ることなく、議案と予算審議、一般質問等を日程通り終了し、閉会したことをご報告します。

出産と子育て支援策の補正予算は、今般策定した「けせんぬまWell-beingプラン2024」に合致する施策でもあります。

5月には、議員定数等調査特別委員会が設置されました。6月定例会中にも数回の会議を開催し、今年度のスケジュールに沿って、速やかに業務を遂行しています。

7月1日で、能登半島地震の発生から半年となりました。伝え聞くのは、遅々として進まない復興の現状です。大規模災害を知る本市ができる支援とそれを継続する方法を考えていきたいものです。

広報広聴委員会

委員長 村上 伸子

議会だよりいかがでしたか。お読みになった感想やご意見を左記までお寄せください。



古紙配合率70%再生紙 植物油インキを使用しています



本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

